TOTO

壁付シングル混合水栓(埋込式)埋込部　TLP02309型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

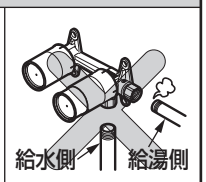
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
❗	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警　告

湯水を逆に配管しない

水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。



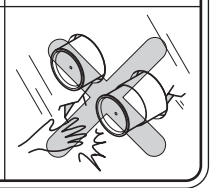
禁止

給湯温度は85℃より高温で使用しない

85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

ガラス・鏡などには取り付けない。

ガラスや鏡などが破損して、けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

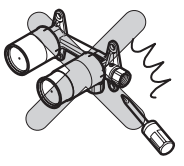


⚠ 警　告

分解禁止

この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない

破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

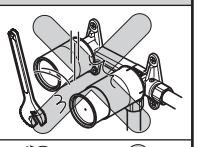


⚠ 注　意

禁止

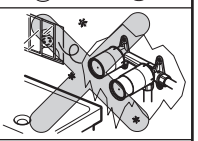
強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



凍結が予想される場所に設置しない

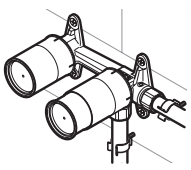
部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

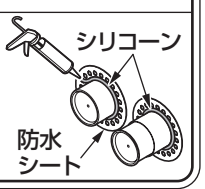
埋込部は、必ず強度のある壁・建築構造体に、適切な埋込部固定ねじで取り付ける

土壁・石膏ボード壁などの強度のない壁に埋込部を固定すると、スパウトやハンドル部が外れたり、壁が壊れたりして、ケガをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



埋込部樹脂カバーと壁のすき間は防水シート、シリコーン塗布により確実に防水処理すること

水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



2 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.1MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度		1～40℃
用　途		一般住宅洗面所用
吐水流量		5L／分　定流量弁内蔵

3 取り付け前に

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。

●誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。

●給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

●瞬間式給湯機の場合、給湯機の能力・水圧などの条件により、給湯機が着火しないことがあります。

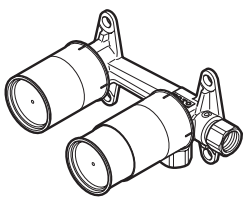
●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

●商品を取り付ける前に、給水・給湯管内のごみを完全に洗い流してください。内部にごみが詰まり、吐水量が少なくなったり、吐水が乱れたりすることがあります。

4 部品の確認

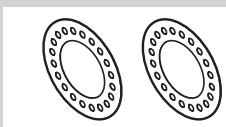
次の部品があることを確認してください。

埋込部



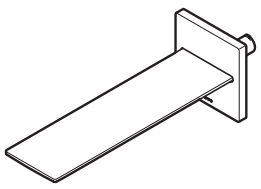
埋込部

注意
以下は取り付けに必要です。
捨てないでください。

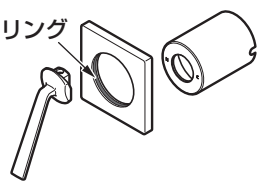


防水シート（2枚）

外観部



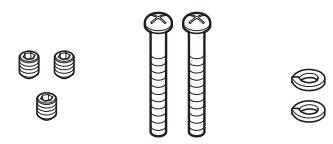
スパウト



ハンドル部材

継手

付属品

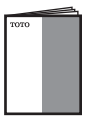


止めねじ（3本）　継手固定ねじ（2本）　ばね座金（2個）

その他

施工説明書

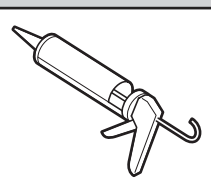
必ずお客様へお渡しください



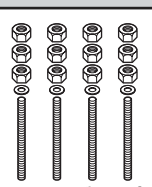
取扱説明書

六角棒レンチ（対辺2.5mm、2mm）

必要部材（現場調達）



シリコーン



（アンカーボルト）4本

または

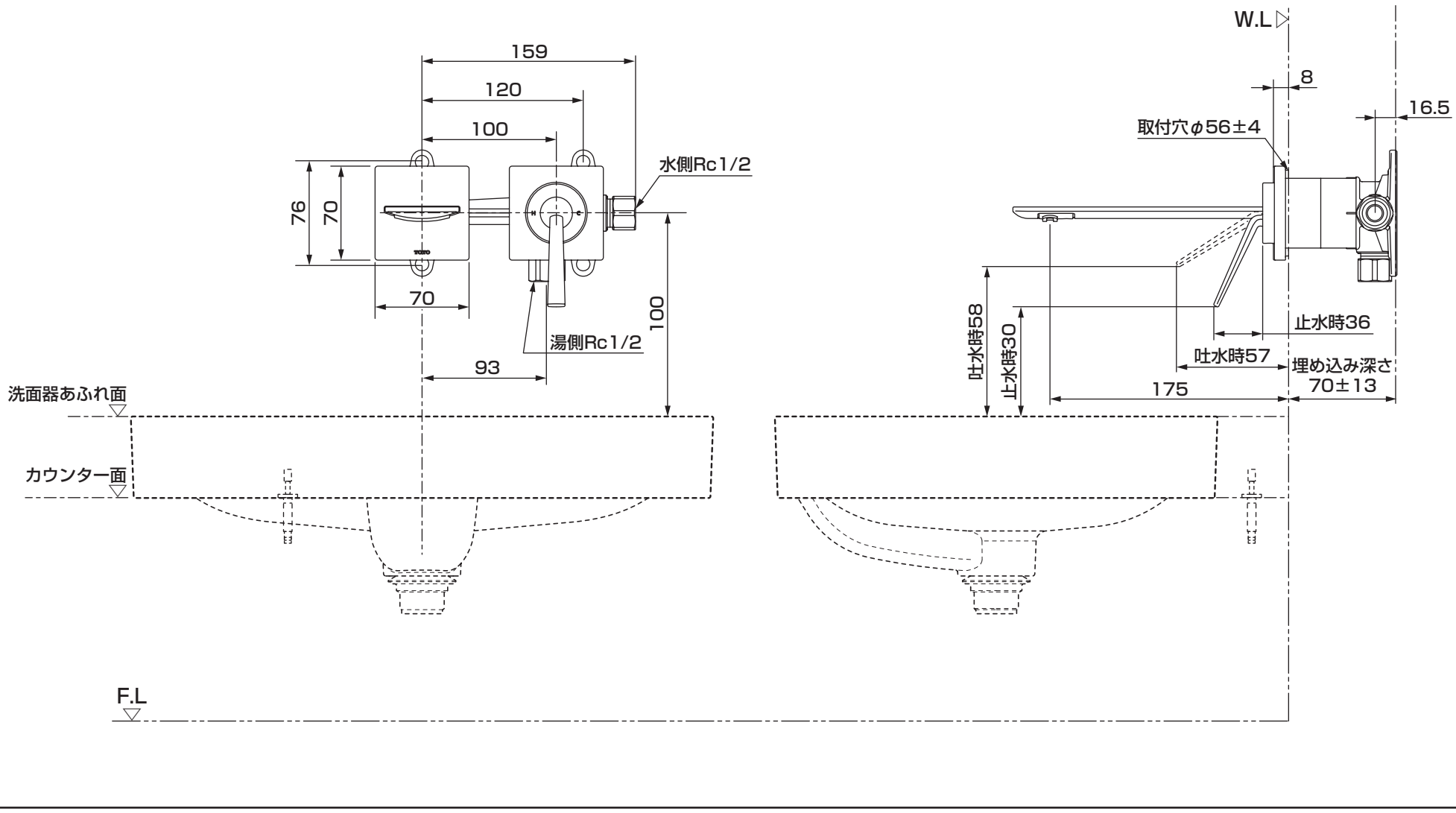
（木ねじ）4本

埋込部固定ねじ

裏面へつづく

5 完成図

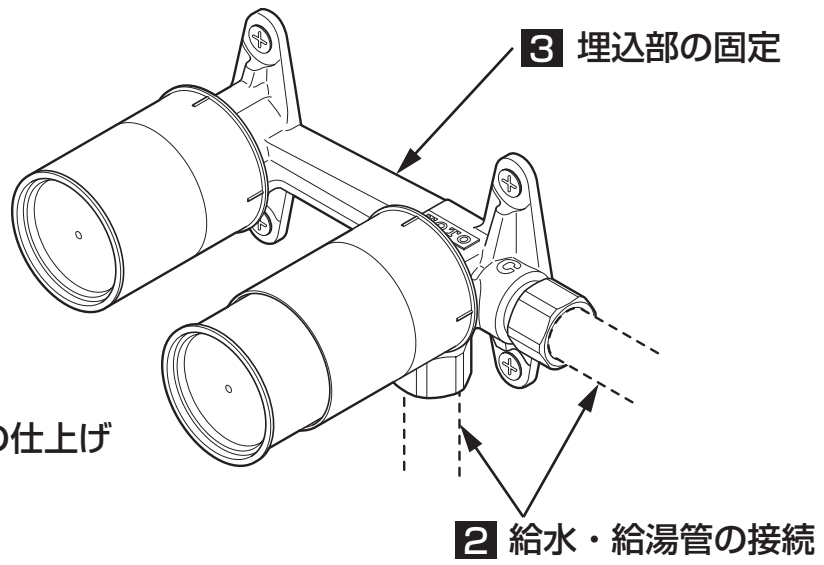
（単位：mm）



※現場にあわせて寸法調整してください。

6-1 施工手順

1 商品固定前に
給水・給湯管内の清掃



1 商品固定前に 給水・給湯管内の清掃

重要

商品固定前に
必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

注 意

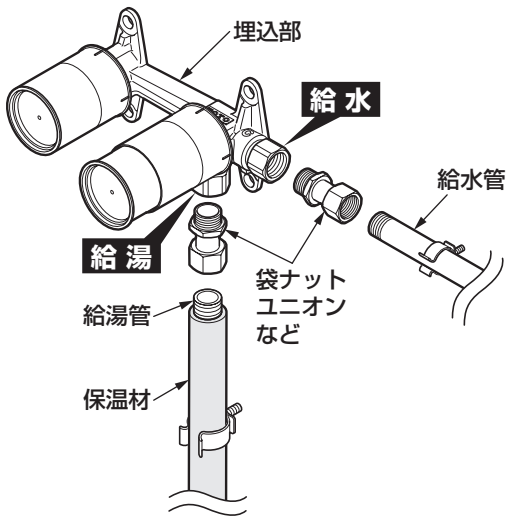
給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などが定流量弁や吐水口に詰まり、以下の事象が発生します。
①吐水量が少ない
②温度調節がうまくできない
給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

2 給水・給湯管の接続

①給水・給湯管を立ち上げる。
②給水・給湯管と埋込部を接続する。

注 意

- **接続には、市販品の配管部材を別途手配してください。**
- **接続箇所には、必ず配管用シール材を使用してください。**
- **給湯管には、保温材を巻いてください。**
- **湯水を逆に配管しないでください。**



③配管接続後、**埋込部に通水し、接続部分から水漏れがないことを確認する。**

重要

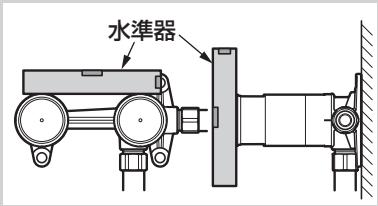
次項へつづく

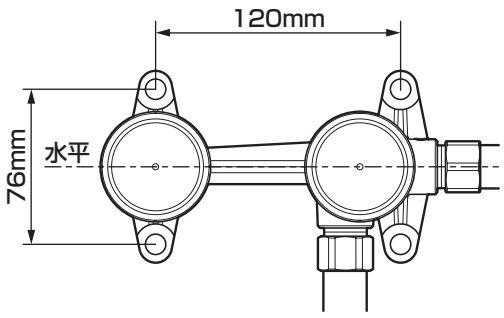
3 埋込部の固定

①右図例のように埋込部の正面に向かって下側が給湯、右側が給水となるよう埋込部を水平に取り付ける。

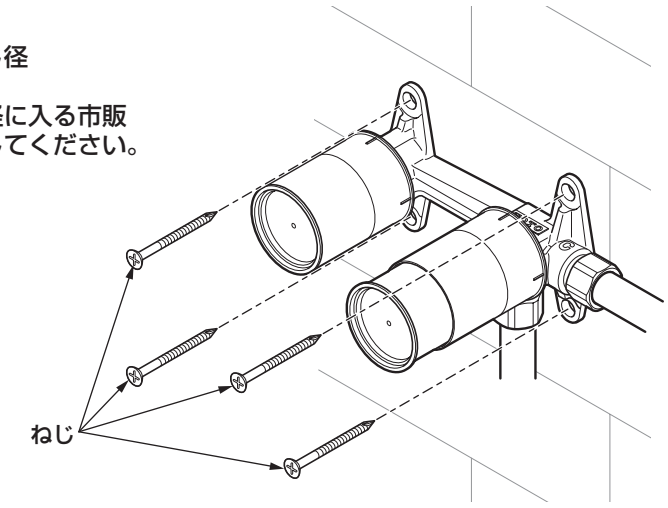
注 意

必ず水準器を使って左右、前後の水平出しを行ってください。





②使用可能取り付けねじ径
つば穴径__φ10
固定には、つばの穴径に入る市販品のねじを別途手配してください。



埋込部の固定後に
7 点検項目(❶、❷、❸)を確認する。

建築工事について、他業者様が実施する場合は、以下項目について、申し送りをしてください。

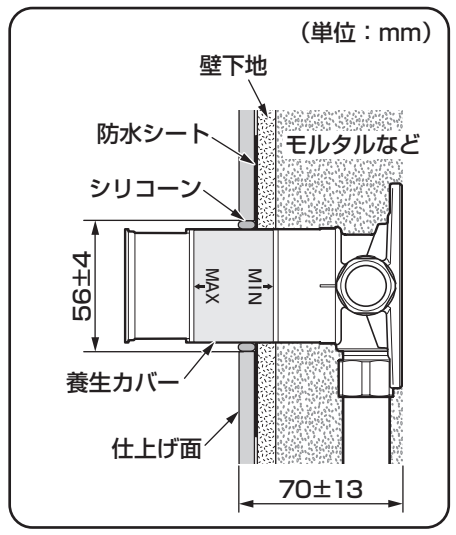
4-1 壁の仕上げ

①必要に応じてモルタルなどで埋め戻す。
（埋め戻しをしなくても、施工は可能です。）

注 意

●養生カバーの内側にモルタルなどが入り込まないように注意してください。

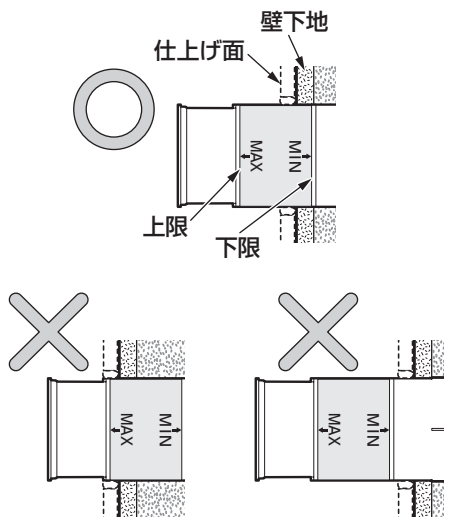
●給水・給湯管および各配管はパイプホルダーなどを用いて十分に固定し、器具が動かないようにしてください。



②養生カバーに表示してある上限と下限の間に仕上げ面が納まるよう壁下地を設置する。

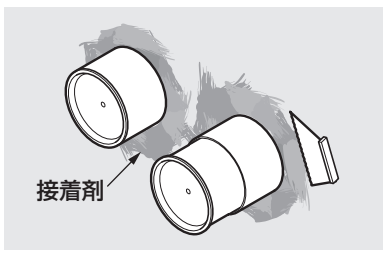
注 意

仕上げ面が仕上げ範囲を超えるとプレートなどの正常な取り付けができませんので、壁仕上げについては十分に打ち合わせをしておいてください。

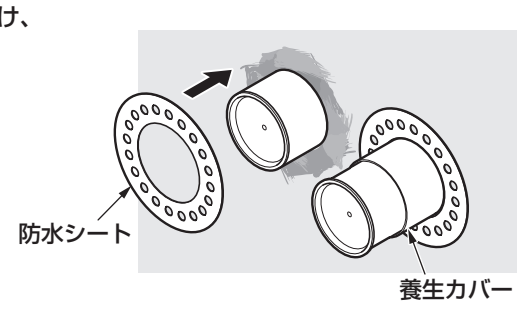


4-2 壁の仕上げ（つづき）

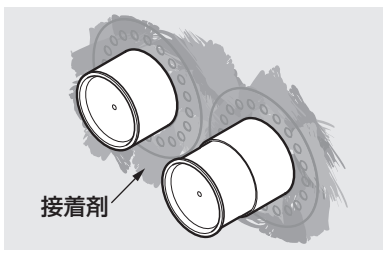
③壁材指定の接着剤を壁下地に塗布する。



④防水シートを養生カバーへ取り付け、壁下地に接着する。



⑤接着剤を塗布する。

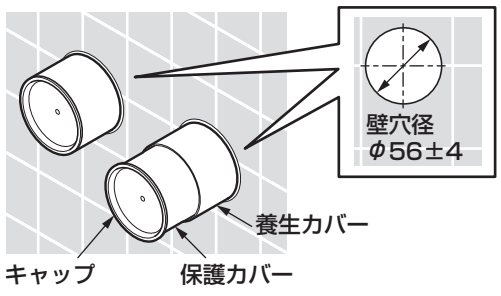


⑥仕上げ材で壁を仕上げる。

注 意

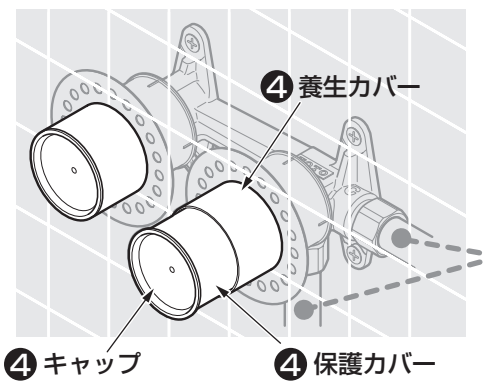
●仕上げ材の開口が規定を越えるとプレートなどの正常な取り付けができませんので、壁の仕上げ材の開口はφ56±4としてください。

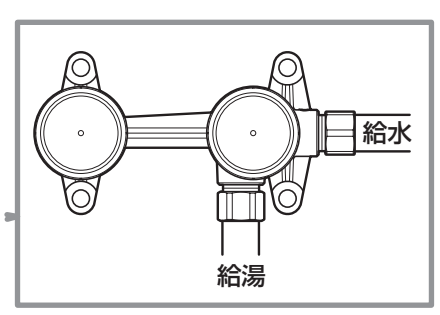
●養生カバー、保護カバー、キャップは取り外さないでください。



7 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。





埋込部の取り付け

❶ 埋込部の正面向かって下側が給湯、右側が給水となるよう埋込部を取り付けていますか？

↳ 6-1 − 2「給水・給湯管の接続」参照

❷ 埋込部、配管にがたつきはないですか？

↳ 6-1 − 2「給水・給湯管の接続」

↳ 6-2 − 3「埋込部の固定」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

❸ 配管接続部からの水漏れはないですか？

↳ 6-1 − 2「給水・給湯管の接続」参照

埋込部の養生

❹ 養生カバー、保護カバー、キャップは取り付けていますか？

↳ 6-3 − 4-2「壁の仕上げ（つづき）」参照